

みつぎ便り

129号
6月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成29年6月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report/



いづれ菖蒲かカキツバタ

見次公園の湧水の出る付近に最近になって作られた木造の柵の中に青紫や黄色の菖蒲が咲き誇っています。

五月の子供の日にお風呂に入れる菖蒲と同じだと思っていました。風呂に入れる菖蒲はサトイモ科で葉の形が似ているだけで花はさかないそうです。花の咲くのは、アヤメ(菖蒲)、ショウブ(菖蒲)、カキツバタ(杜若)とアヤメ科アヤメ属でサトイモ科とは全く違った種類なのです。私もこの記事を書くため調べて

みて初めて知りました。

「いづれ菖蒲かカキツバタ」

の言葉のように、その違いを見極めるには、花の色や花びらの模様の違いや、花の背丈や、水辺を好むか等、幾つもの要素が有り、素人にはなかなか難しいようです。

素人の私としては「たてば芍薬・座れば牡丹」の言葉と同様に、よく似ていてその美しさに甲乙つけがたいと言う程度の理解で良いと思う事にしました。(安)

タナゴ

これから梅雨の季節がやってきますが、公園の釣人は、毎週月曜日の釣り禁止日以外、雨の日でも毎日のようにその姿を見ることが出来ます。釣人の中には、本格的なヘラブナの釣りをしている人が多い中、手軽な小物釣りを楽しむ釣人もいます。特に天気の良い日で、学校が休みの日は子ども連れが多く訪れています。

今回は、小物釣りの中でも最も難しく、釣りの腕前が出るといわれているタナゴを取り上げたいと思います。



タナゴは口が小さく、釣針も餌も小さく、餌取りも一瞬の内にするため当たりのタイミングに合わせるのが難しい魚です。このタイミングを取るためのウキや目印に、各自工夫を凝らし独自の仕掛けを造って楽しんでる方が多くいます。

見次公園のタナゴは、元々棲んでいたものでは無く、タナゴ愛好家の人が、魚を放流したようです。竿や仕掛けも比較的手軽で、色々と創意工夫ができ、また奥が深いタナゴ釣りに皆様も挑戦してみたいかがでしょうか。